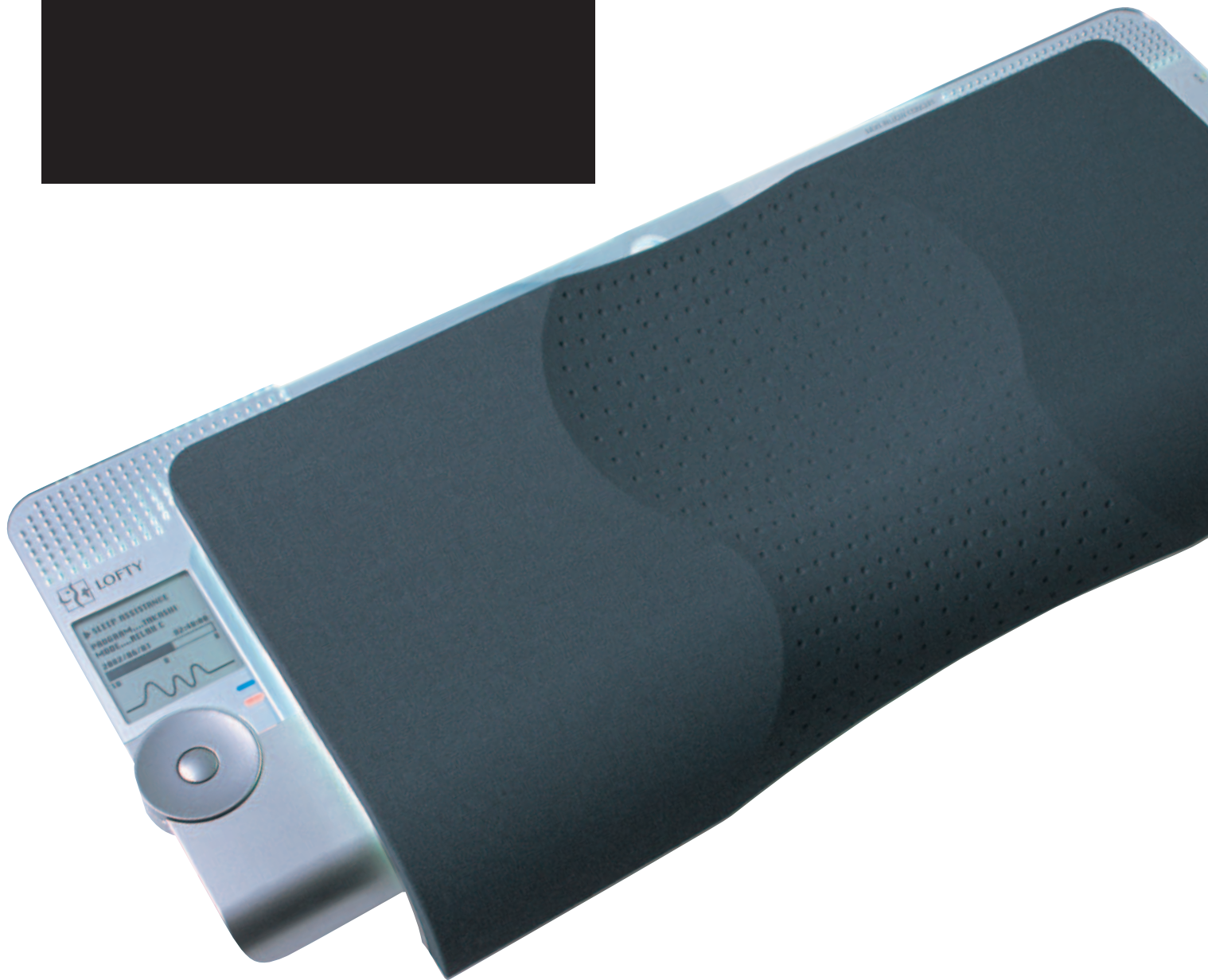


PRO'S Products

August



大バケするか知識社会の睡眠ビジネス 眠りをコントロールする

[Next Pillow] photo : Muryama Shinori

メーカー ロフテー株式会社
URL www.lofty.co.jp

知識社会でバリバリ仕事をするためには、すっきりした頭が必要だ。そのためには、しっかり寝ておく必要がある。これまでもそんな観点からデザインされた機能寝具はいろいろあったが、このNext Pillowまで徹底すると爽快。発想のベースは「個眠」、つまりライフスタイルの多様化に合わせて、個人の生活に合わせた睡眠を積極的に演出していくというアプローチ。センサーを使い、脳波や脈拍、体温から体内リズムを自動的に検知する。そのうえで、立体音響システムや照明、エアコン、さらにはアロマシステムなどの周辺機器と連携しながら「誘眠」から「安眠」、そしてさわやかな目覚めをもたらす「覚醒」の3つのステージが提供されるという。なんといっても人間、人生の3分の1は寝ているわけだから、睡眠の重要性が認められれば巨大なマーケットになってもおかしくない……というのは21世紀の夢のような話？

(今泉 洋 / 武蔵野美術大学デザイン情報学科教授)



ひんやりとした重い質感を味わいながら パソコンでとっておきの曲を聴く
[Power Mate]

メーカー Griffin Technology, Inc.
URL www.griffintechnology.com/audio/

最近ではパソコンがすっかりオーディオ代わりに使われることが多くなった。PowerMateはUSB接続でパソコンのオーディオボリュームを調節するための贅沢なコントローラーだ。ブルーの光の上に浮かぶようなアルミ削り出しの重量感溢れるノブは、高級オーディオアンプのそれを思わせる。ボリュームコントローラーといえば、テレビやオーディオでもっとも頻繁に触る箇所であり、1番大きくしつらえてあるパーツなのだが、そういえばパソコンには付いていなかった。ちなみにこれは回すだけでなく、クリックもできる。そしてそれらのアクションに機能をアサインすることで、いろいろな用途に使える。たとえば、ドキュメント閲覧のスクロールアップ / ダウンやビデオ編集フレームの設定、ゲームのコントロールなど。これでコントロールすることが、果たしてベストに便利かどうかは定かではないにしても、他では得られない心地良い操作感をもたしてくるのは間違いないだろう。ひんやりして重い物ってパソコン周辺ではちょっと見かけない。
(クワクポリョウタ / デバイスアーティスト)



バッテリーサイズが違っていても大丈夫
アダプターがセットになった充電式電池
[多サイズ対応アダプター付充電式NiMH電池パック]

メーカー Panasonic
URL www.panasonic.com

電池というのは単1形から単5形まで電圧は同じわけで、物理的に電池ホルダーの端子に接触しさえすれば、とりあえずは使える。僕もその昔、単2形乾電池を使うゲームマシンに手持ちの単3形を無理やりセットして使っていた記憶がある。単3形と単2形は長さが大体同じだからだ。写真の商品は、NiMHの単4、単3形二次電池とその充電器、それから単2、単1形へのアダプターがセットになっている。単2、単1形を使うときには、対応するアダプターの中に充電した単3形充電池を入れて大きさを変換する。いわばマトリョーシカ方式だ。この一式さえあれば、大概の機器の電源はまかなえようというもの。ただし、見かけは大きくなって、当然のことながら容量や最大出力電流はもとのままだから、そこは注意して使ったほうが良いだろう。
(クワクポリョウタ)



指紋認証もついている セキュリティー重視のPDA プラットフォーム
[コンセプトモデル]

photo : Murayama Shinori

メーカー シチズン時計株式会社
URL www.citizen.co.jp

お金が詰まった財布より、もっとシビアな内容が入っている可能性のあるPDA。特に業務利用となるとセキュリティーに神経質になるのも当然。だったら機密性を第一に考えて.....というコンセプトで開発されたのが、このPDAプラットフォーム。3.5インチのフロントライト付き反射型1/4VGAディスプレイをMIPS系133MHzで駆動する、PIMとウェブブラウザ&メーカーを装備したPDAをカスタマイズして提供するビジネスだ。ユニークなのは指紋認証によるセキュリティーが備わっている点だが、考えてみればポータブルデバイスの常識となるのも時間の問題か? この他にもシリアル、USB、赤外線、コンパクトフラッシュカードやISAバス、有線、無線LAN接続、GPSやCMOSカメラ、BluetoothやPCとのシンク口など、ニーズに応じて多様な機能拡張を行うという。基本は業務用PDAとしてのOEMだろうが、応用形態が見えてきたところで、個人用に最強のPDAなどカスタムメードで提供してくれると世の中楽しくなるのだが。 (今泉 洋)



外出先で一仕事するときの必需品 丸めて持ち歩ける防水キーボード
[Flexible FX100 Keyboard]

メーカー MAN & MACHINE, INC.
URL www.man-machine.com

PCやPDAを小さくしようとすると、どうしても問題になるのがキーボード。タッチスクリーンという手もあるが、効率的な文字入力を考えるとキーボードはぜひ欲しい。だが、使い勝手を考えるとある程度の大きさは必要……というわけで、折りたたみ式、格納式などいろんなスタイルのものが開発されてきたが、数多いバリエーションの中でも、このキーボードの実用性には要注目。携帯電話などにも使われるフィルムタイム基板の両面をシリコンゴム皮膜でサンドイッチしたこの製品、残念ながら折り畳むというわけにはいかないが、丸めて持ち歩けるというのがポイント。広げれば4×85×250mmという飛行機のトレーにも収まるサイズ。汚れたら石けんで洗えるという実用性も秀逸。Palm V、m100やIIIシリーズ、Handspring Visor、Compaq iPAQというしっかりしたキーボードを持たないPDAユーザーには必見だ。
(今泉 洋)



思考を広げるA7プリントアウト
厚さ17.5mmのPDAモバイルプリンター
[MW-100]

メーカー ブラザー工業株式会社
URL www.brother.co.jp

どこでも使えるPDAは便利だが、どうしても小さく閉じこもりがち。プリントアウトをポストイット感覚で使えば、アイデアを机の上に大きく広げることができる。だが、印刷するには当然のことながらプリンターが必要。しかもPDAよりでかい、厚い、重いとなると、もう周辺機器とは言い難い……という悩みに応えたのがこのプリンター。印字解像度が300dpi×300dpi、本体の厚さ17.5mm、重さがわずか300g(専用A7紙50枚と電池を含む)とビジネスユースを狙ったスペック。PDA用には赤外線通信、パソコン用にもUSBポートが用意されている。さらにダイレクトサーマル方式のラインヘッドを利用し、リチウムイオン電池を内蔵しているため、スイッチを入れればすぐに印刷が可能。しかもA7カットされた感熱紙をセットしたペーパーカセットから自動給紙という手軽さがうれしい。
(今泉 洋)

PRO'S Products
August



これさえあれば
あなたのPCもロボットになります
[ER1 Personal Robot System]

メーカー Evolution Robotics, Inc.
URL www.evolution.com

AIBOやマインドストームなどのメジャーなロボットシステムはPCとの連携でプログラムされるが、一方ではこんなシステムもある。このER1はPCと連携しない。PCそのものがロボットだからだ。カメラ、モータードライブとバッテリーを積んだ本体のフレームに手持ちのノートPCを固定し、それぞれをUSBで接続して準備完了。あとは専用のソフトウェアを起動すれば立派なロボットができあがる。すべての処理がPCのプロセッサで行われる、ということはそれだけ高度な処理ができることを意味する。専用ソフトウェアは画像認識によって目的の場所に走行させたり、音声によるコマンドを認識したり、写真を撮ったり、メールを送ったり……とさまざまな機能を持っている。まあ、パソコンだからあたりまえといえはあたりまえ。将来的には物を掴んだり運んだりするためのアームをオプションとしてリリース予定とのこと。これで遊んでいるうちに、自分のノートPCがかわいくなってしょうがなくなくなるのだろうなあ。
(クワクポリウータ)



PalmサイズでXP Professional搭載
米ベンチャーの手のひらサイズパソコン
[Ultra PC]

メーカー oqo, Inc.
URL www.oqo.com

最近、「元アップル」という肩書きの人物がユニークなプロダクトを発表することが多い。Palmサイズの「Ultra PC」というコンセプトで注目されているOQO社を設立したのも、3年前までTitaniumのパワーブックを設計していた人物。手のひらに収まるサイズ(105 x 74 x 22mm)ながら米トランスメタのCrusoe TM5800(1GHz)に256MBのSDRAM、ディスプレイはタッチスクリーン式の4インチTFT、ハードディスクが10GBからというスペック。さらにUSBやIEEE1394を備え、IEEE802.11bやBluetoothという無線通信機能も内蔵して250グラムに抑えてある。G4で培ったデザインセンスでとんがった仕様のPCをしあげて存在感を打ち出そうというところか? ひと昔前なら、こういうスペックのマシンは日本のお家芸だったはずなのに、さてどうしたものだろう……。

(今泉 洋)



PDA、携帯電話で使用する
眼鏡装着型のウェアラブルディスプレイ
[AV-1 qVGA ASCII Viewer]

メーカー MicroOptical Corporation
URL www.microoptical.net

ヘッドフォンをしたり携帯をかけたりのながら街角を歩く人はざらにいるけど、ウェアラブルディスプレイを装着して闊歩する人にはまだお眼にかかったことがない。そんな光景が普通になる日が来るのだろうか。やっぱり来てしまうのだろうか。ただし、それは十分に軽量化と扱いやすさが実現されたあとの話。Micro Optical社はそういった意味で有望な眼鏡型ウェアラブルディスプレイを開発している。たとえばEG-7は、頭部に装着するユニットはわずか53グラムで、QVGAのカラー映像を表示できる(現状では外部に駆動ユニットが必要)。眼鏡のレンズに埋め込まれた反射体の先に映像があらわれ、それ以外の領域は視界を阻害しない。重量も見た目もこれくらい軽くなってくれば、あとは少し勇気を持ち合わせたユーザーが現れるのを待つだけだ。ヘッドフォンだって携帯だって、最初はかなり変だったもの。

(クワクポリヨウタ)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp